

ESD 公開学習会

日本の ESD を捉え直す～国際的な潮流から見た実践・研究・政策課題～

日本の ESD の「ガラパゴス化」が近年指摘されるようになりました。その背景には、国際的な舞台で発信されている情報が日本国内で十分に共有されていないことや ESD に関する批判的な論考が紹介されてこなかったことなどがあると言えます。「ESD に関するユネスコ世界会議」を1年後に迎えることを考えると、こうした現状を変えていく努力はこれまで以上に求められていると言えます。この学習会では、WEEC(世界環境教育大会)など、近年に開催された ESD 関連のグローバルな動向やユネスコ関連の政策動向を吟味した上で、日本における ESD の現状と課題について検討します。

- ◆ 日 時: 2013 年 10 月 5 日(土) 午後4時半～7時
- ◆ 会 場: 聖心女子大学グリーンパーラー
- ◆ 参加費: 千円(学生は五百円)
- ◆ 対 象: ESD に関心のある方
- ◆ 主 催: 日本国際理解教育学会 国際委員会
- ◆ 申込み方法:

学習会前日までに「ESD 公開学習会」というタイトルを付して下記のメールアドレスまで、お名前とご所属を明記した上でお申し込み下さい。申込用アドレス yoshy@pobox.com

ESD 公開学習会世話人&講師:

聖心女子大学教員／ユネスコ本部 ESD モニタリング評価専門家会合委員
永田佳之